HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	生活協同組合の委員会活動における組合員の自立過程
Author(s)	水口, 由紀
Citation	社会教育研究, 20, 107-133
Issue Date	2002-03
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/28545
Type	departmental bulletin paper
File Information	20_P107-133.pdf

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

生活協同組合の委員会活動における組合員の自立過程

水　口　由　紀

1，課　題　設　定

戦後日本資本主義社会における生活協同組合（以下「生協」）は，資本の蓄積過程に対する消費者の対応として，ひとつの社会運動として発展してきた。今日では，市民生協の組合員は約1700万人（1999年度）を越え，日本で最大の市民の自主的な組織に成長した。特に市民生協においては，専業主婦に社会参加する契機を与え，社会的視野や価値観を豊かにしているという点で，数値だけでは評価できない価値や先進性を持っていた。

しかし，一方で生協はいくつかの点で大きな転換期にさしかかっていると言える。事業（商品供給）における事業高の停滞ないし減少，それによる経営危機，組合員数の伸び悩み・組合員活動の停滞ないし固定化，生協の社会的な役割の変化などに対応した新たな生協像の創造・発展が問われている。現に90年代の生協運動は，「企業化」「双方向コミュニケーション」などの形で生協の発展を模索してきた。

本来生協運動とは，組合員同士が商品を介した組合員活動において，生協職員の助けを借りて，学習活動の中で自己表現や新しい出来事・知識に出会うことを楽しみ，お互いの関係を深める過程の中で，自己の課題や地域課題に気づき，それを事業化していくことを通して解決していくという過程を含む活動ではないだろうか。そこから生協が発展する可能性を考えることが大切ではないだろうか。そこで本報告では，北海道の生活協同組合市民生協コープさっぽろを対象とし，組合員と組合員を，組合員と地域をつなげる為の活動における自立過程を追いたい。

※生活協同組合市民生協コープさっぽろの概要

- 1965年（昭和40年）創立総会
- 組合員数…878,499人（2000年9月現在）
- 出 資 金…13,516,217千円（2000年9月現在）
- 事 業 高…1,480億円（2000年6月現在）
- 全店舗数…88店，協同購入支部数…22支部（協同購入利用者数…164,704人）（2000年6月現在）
- 職 員 数…10,949人（男性2,275人，女性8,674人）（2000年3月現在）

研究方法は，文献研究，コープさっぽろ内部資料分析，組合員への聞き取り調査である。

2，コープさっぽろにおけるコープ委員会の構造と類型化

2－1　コープ委員会設置の歴史的経緯

コープさっぽろは1965年に創立され，創立期には全組合員の班加入を目指し，1973年に班を基盤とした組合員組織を作るために店別総代会議，その事務局として店別組織委員会が設置された。このような基本組織を背景にし，サークル協議会・物価値上げ反対連絡会議の結成につながる各種グループ活動も形成された。続く1984年には連邦分権方針が掲げられ，店舗別に地方理事会，店舗別に各種活動グループが設置された。班組織の性格はコミュニケーション組織として改められた。この連邦分権における課題は，各地方理事会が組合員組織を掌握し，事業経営と経営責任を果たせるまでに成長することであったが，その課題が解決されることなく1995年に破綻する。積極的な事業展開の結果としての営業成績不振，それを方針そのものではなく執行不全の問題に矮小化した経営者マネジメント，組合員一人ひとりのニーズに合わせて組織・活動を柔軟に変えることが出来ずに，組合員を選択的制限下に置いてきたことが原因となり，組合員活動は広範な組合員に広がらず，世代交代の遅れ・組合員活動家の高齢化と活動のステレオタイプ化した組織になってしまったのである。

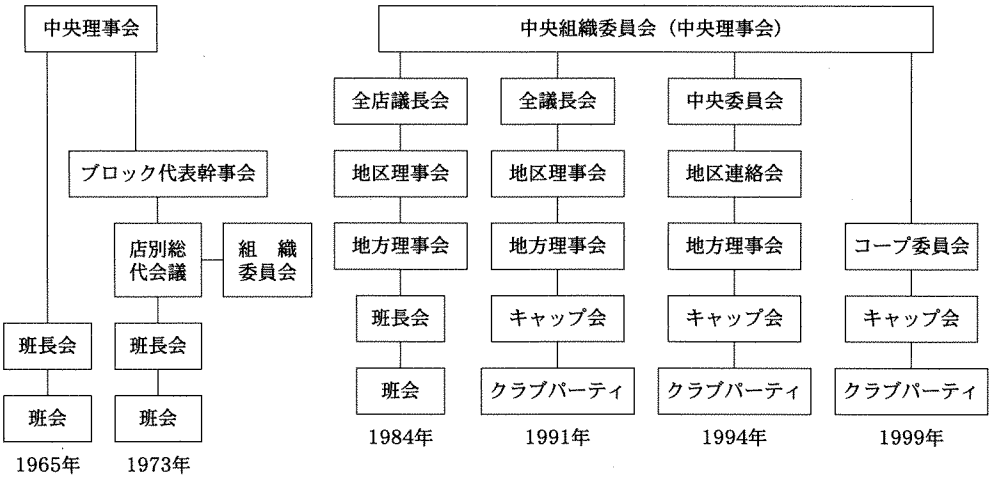
そして，その課題を解決する為に，一人一人の組合員のニーズに応えることに重点が置かれ，コープさっぽろの再建計画が始まった。1999年からは日生協からの人的・資金的援助を受けながら，地方理事会制度・組織委員会制度の廃止や本部の各種グループ活動の解散が行われ，店舗における組合員組織強化（組合員が組合員の意思で運営する組織）の為にコープ委員会（1999年）が設置された。経営に関する諸問題は生協職員に任せ，組合員へのトップダウンの縛りを緩くした。日本の市民生協の理事会の場合は，職員組織を事業にあたらせると同時に，組合員組織にも経営課題を降ろして事業運営への参加を促すことになる。コープさっぽろの組合員は，地方理事会の廃止とコープ委員会の設置によって，理事会→地方理事会→班長→組合員へと上から目標や課題を降ろし実行するという執行機能を軽減し，合意形成機能や企画立案機能を担うようになった。組合員組織を事業運営の過度の圧迫から解放したのである。しかし，組織活動は組合員・経営は生協職員が担うという二極化された状況とも言える。今後は，二極化を克服するための展望を作ることが課題となる。

以上，コープさっぽろ30年間の運営組織をまとめると図2－1になる。

2－2　コープ委員会の構造

1．目的

1999年からコープ委員会制度が始まった。コープ委員会は生協運動の原点に戻り，組合員が欲しい商品を協同で仕入れて買うという活動を通して一人一人の組合員の要望に応える地域に根付いた自主的な組合員活動を行い，よりよい生活を目指すこと・店舗経営の再生が目的である。そして，



【図２－１】コープさっぽろにおける運営組織の推移

商品学習活動に重点を置いて活動が始まった。コープ商品（食品が多い）を中心に学習活動をし，商品を通して見える自らの生活の見直しを行い，コープ商品の利用促進を行う。最終目標は，コープ商品を普及させるだけではなく，組合員の声をもとに組合員と生協職員とが協力し，利用しやすい店舗へと改善したり，商品を改善したり，新しく作り出す事である。地域での活動を通じてコープさっぽろと地域の組合員のパイプ役がコープ委員である。

コープ委員の意識としてもコープさっぽろ破綻時には，まずは「コープ商品を買いたい。その為に店舗を残したい」という思いが強く，組合員による買い支えを実現する事がコープ委員会の目的で，その橋渡しがコープ委員の役割としている。

【資料２－１】

○コープ委員会ってなに？

- みなさんがお住まいの地域の組合員の代表で構成されます
- 地域での活動を通じてコープと地域の組合員のパイプ役となります
- 地域の組合員が気軽に参加できる場づくりをすすめます
- 多くの組合員に楽しい取り組みを通してコープの良さを知ってもらいます
- 元気なコープをつくる応援団としてがんばります

○コープ委員会って何するの

- 毎月１回コープ委員会を開催します。楽しい活動になるよう「わいわいガヤガヤ」とみんなが参加し，意見が出る会議にしましょう
- 年２回のクラブキャップ会や組合員のつどいを主催します

(1)参加された方が「楽しかった」「ためになった」「またこよう」と感じていただけるように計画を組みます

(2)その場ではコープからのお知らせとコープに対する疑問や質問に応え，コープへの要望を聞く場です

・地域の組合員の要望によるグループ活動を援助します

・コープ委員会としてもテーマをもって活動しましょう

※「1999年度版コープ委員会活動のしおり～はじめて委員になった皆さんの手引き」より抜粋

報告者は，①「地域の組合員が気軽に参加できる場づくり」をし，まずは組合員同士の交流の中で，「『楽しかった』『ためになった』『またこよう』と感じ」，生協の組合員活動が自分の生活に役に立つ・楽しいものなのだと組合員自身が感じる活動。②自分の役に立つ活動を行っている生協自身に目を向けられるようになり，生協が行っていて知らなかったこと・「コープの良さ」を知る活動。③知ったことに対する疑問・質問・不満・要望を出して，応える。このような組合員とコープ委員とでキャッチボールをする過程を通して，より多くの「元気なコープをつくる応援団」を増やしていく，という三つの活動が想定されていると考えている。

しかし，コープ委員会の目的を実現する為には，生協職員との協力が必要だと思われるが，そのことは必ずしも具体化されていない。例えば，「コープに対する疑問や質問に応え」る為には，生協職員の専門性が必要になって来るであろう。

2．コープ委員の構成

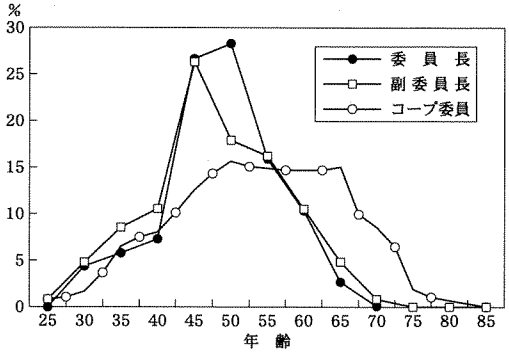
コープ委員会の担い手の対象は，組合員であり，全店舗に設置することが目指された。コープさっぽろ本部への登録制となっており，任期は1年間で組合員の自由参加である。構成員は，組織委員・代表議長・分野別中央グループが無くなり最寄りの店舗のコープ委員会に活動にフィールドを求めてきた人など，以前から活動をしていた人が多い。現在では，全88店舗中86店舗にコープ委員会があり，コープ委員長74名，コープ副委員長104名，コープ委員1316名，合計1419名が登録している。一コープ委員会は平均15～20人で構成され，年代は50～60代の女性が多く，平均年齢は55.2歳である。

20～40代の若い年代の主婦を組織することが今後の課題であろう。この課題は，コープ委員会が継続できるか否かという後継者選びの問題とあると同時に，特に子育て中の20～30代の女性に一番いろいろなことに問題意識を持って取り組んで欲しいという想いから発生している。

「コープ委員の高齢化が進んでいます。50～40代の親から30～20代の子供へ生協運動が伝わるようにして，コープ委員を引き継いでいきたいし，地域にいる30～20代の子育てをしてい

	人数	平均年齢
コープ委員長	71	50.4
コープ副委員長	107	49.9
コープ委員	1332	55
合計or平均	1510	55.2

【表２－１】コープ委員の人数と平均年齢



【表２－２】　コープ委員の年齢構成

る母親をターゲットにして活動をしようと思っている」（コープ委員長の聞き取り）

３．活動内容

活動内容は，大きく分けてコープ商品学習活動と従来グループ・サークルで行われてきたテーマ活動とに分かれており，主として前者に重点が置くことが目指された。ここで言う学習活動とは，組合員と共に既存のコープ商品の商品知識（美味しさ，体や環境に与える影響など）やその利用・加工方法を学び，より多くの組合員に普及させる事，組合員に買って利用してもらう事を目的とする活動の事である。

【資料２－２】

［第１号議案］1998年度のまとめと1999年度の重点方針

⑶組合員と職員が一体となった事業活動をすすめることが生協再建の基礎です。99年度はコープ委員会活動をひろげる中で商品を中心に利用を拡大する取り組みをすすめます。

〈1998年度のまとめ〉

・地域で生き生きと活動するコープ委員会をつくりましょう

98年度は全国の組合員活動に学び，コープさっぽろの組合員活動を見直す議論の中から，コープ委員会づくりの方向を確認してきました。コープ委員会の共通のテーマは商品となっています。〝○○店を元気にする会〟〝△△支部を支える活動〟など気軽で自由なあつまりの中から商品の学習や改善の「声」を出し合い，さらに生協利用を高める組合員活動に取り組みましょう。また，環境や福祉など地域での暮らしに関わるテーマについても関心を持ち，生協という場を活かした学習や地域活動にとりくみます。

〈1999年度の課題〉

・コープ委員会活動の立ち上げを成功させ，創意工夫に富む委員会活動をひろげます

—地域の組合員の願いや改善要求をどんどん集め，利用しやすい店舗や協同購入への改善を進めます

—組合員と職員が一緒に元気な事業活動を進め，コープさっぽろの再建に取り組みます

※生活協同組合市民生協コープさっぽろ「第34回総代会議案書（Ⅰ）」(1999年）より抜粋

全店舗での実施状況は【別紙1】のようになっている。多種多様なコープ商品の中の食品を使った学習活動が中心である。安心安全な生活はまずは食生活からという多くの組合員の想いから支えられていると考えられる。コープ商品（主に食品）を手段にして設定されるテーマは，遺伝子組み替え・環境（水環境・森林資源・ダイオキシン）・添加物（発色剤・着色料・リン酸塩）・農薬などである。まずはコープ委員会会議で議論し内容を決める。その後，具体的にはクラブキャップ会・「会員の集い」として組合員を集め，実際にコープ商品を使い，時には他社商品と比べながら，味・使いやすさを比較してコープ商品の良さを広げる中に，コープ商品の紹介・説明，学習テーマの説明を織り交ぜていく活動が大部分を占め，対象とするコープ商品は，重点商品計画の中に挙げられている商品を選択する場合が多い。特に今年はそれらの学習を「食品衛生法の改正と充実強化を求める国会請願署名」に結実させ，コープさっぽろの目標30万人署名を達成した。クラブキャップ会・「会員の集い」時に，賛同される方にはコープ商品を買って欲しいと組合員に推進はするが，強制ではない。しかし，学習し広めたコープ商品は確実に利用が広がっている。

コープ委員会活動の共通点としては，コープ商品を使い，商品知識を学習したり，商品の利用・加工方法を学ぶ活動が大部分を占めている事を挙げる事が出来る。対象となるコープ商品は，重点商品計画（月次の重点商品計画…【別紙2】）の中に挙げられている商品を選択する場合が多い。また，「楽しかった」「こういう活動もしているんだね」「だから生協よね」という組合員の声に励まされ，自主的に活動する事の楽しさを掴んでいる。楽しく組合員が集える場づくりが出来ているという事だろう。

4．コープ委員会の周辺

コープ委員と接点を持つ生協職員は，店舗の責任者である店長である。会員の集いの時に使うコープ商品を取り寄せてもらい，会員の集いで使用したり，会員の集い後に組合員が購入できるように店舗に並べてもらっている。

中央組織委員会が開く地区ごとのコープ委員長会議が月1回あり，コープ委員長が参加する。本部にある中央組織委員会は，組合員が担っており，道央（第1・第2・第3地区）・道北地区・道南地区・協同購入と担当が分かれている。コープ委員長会議とは，中央組織委員会が地区ごとのコープ委員長を集めて，3カ月に1回開く会議であり，コープ委員会活動の報告，月次のコープさっぽろの経営状況が報告される。そして，今年1年間，コープ委員会で学ぶ重点商品の候補と学

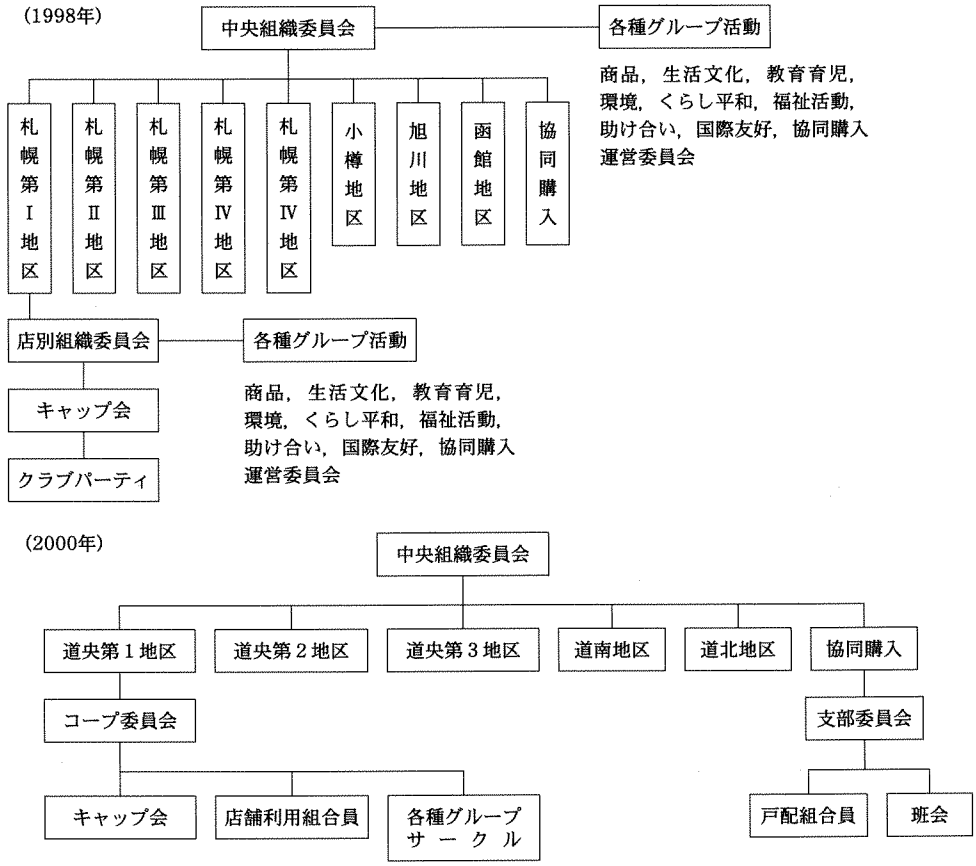
習テーマを提案しており，コープ委員会活動をサポートしている。

「今年の重点商品は，組織委員会がアンケートでコープ委員から集めたお勧めのコープ商品と商品部が力を入れていきたいコープ商品とを照らし合わせたり，社会問題を踏まえて，そのテーマについて考えやすい食品を選んだ。来年からは，各コープ委員会の中で委員たちが自分たちの興味のある商品を選択して，テーマ設定をして，学べる活動にしたい」（組織委員会第3地区担当の組合員の聞き取り）

グループ・サークルは，各店舗ごとに任意で作られ，組合員が習い事・趣味・教養・社会問題の分野からそれぞれテーマを設定して，組合員が自主的に集まり，内容・方法を決め，活動している。サークルとグループの違いは明確ではないが，習い事・趣味・教養からテーマ設定をしている集まりはサークルと呼ばれ，社会問題からテーマ設定をしている集まりはグループと呼ばれ，区別されている。コープ委員設置などの一連の組織再編に伴い店別のグループ・サークル活動の在り方は各店舗に任された。従って，グループ・サークルが存続している店舗，グループ・サークルを解散させ，その内容をコープ委員会で継続させている店舗などがある。

クラブ（班）とは，店舗を利用している組合員が3名以上集まって作っている生協からの連絡組織である。クラブの代表者は，クラブキャップ（班長）であり，年2回キャップ会が店舗ごとで開かれる。コープ委員がコープ委員発行の店別ニュースや店舗ちらしを大袋と呼ばれる袋に入れる。キャップが店舗に大袋を取りに来て，クラブ員に配布する仕組みである。ゆくゆくは，クラブ員から生協に対する要望を上げてもらいたいと考えている。現状では，クラブパーティ（班会）は開かれていないのでそれは実現しておらず，ニュースなどで生協の情報を受け取る人・コープ委員会の活動の参加者という位置にいる。割戻率が上がるという特典やクラブパーティによって出来る人的つながりによる魅力も減少し，クラブの数は増加していない。クラブ員にとってはクラブを作るメリットは感じられなくなり，クラブの存続についての問題意識もある。コープ委員からは，「クラブはなくても良い」という意見もあれば，「全くつながりがないよりは，あった方が生協からのお知らせができるシステムなので，生協のことを少しでも知っていると思うので，声をかけやすいので残した方が良い」という意見もある。しかし，いずれの発言も生協・コープ委員側の立場に立った意見であり，クラブ員の立場に立ち，クラブ員にとってはどのようなクラブが良いのか・魅力あるのかを位置づける議論が必要だと言える。

コープさっぽろ内でのコープ委員会に対する評価は，「いっしょに活動をすすめるコープ委員の輪を広げることで活動の楽しさや活動の幅が広がることがわかりました」としている。しかし，今後は「地域になくてはならない生協」を目指す為に，「利用を広める活動を通じて参加者を少しずつ増やし，活動をもっと知ってもらい生協と組合員のつながりを強めていく必要がある」という事



【図２－１】コープさっぽろにおける組合員組織図（1998年と2000年）

が課題であり，その為の具体的課題として，「店舗の組合員活動やクラブづくりについての話し合いをすすめ，改めてクラブやクラブ員とのつながりを強めてクラブの再確立をはかっていくこと」と「地域や事業のかたちにあわせた組合員活動をいきいきと広めていく」事を挙げている。

コープ委員会活動は，新しい知識・方法を獲得することによって個々の組合員に楽しんでもらえる活動が出来ている，つまり上述の①は達成していると言えるだろう。組合員が要求を持つようになった今後は，お互いに持っている要求が同じであるという事に気がついたり，要求を掘り起こす場面をコープ委員会で作るが課題であり，そのことで，組合員同士の協同が生まれ，生協に疑問・質問・不満・要望を出す「元気なコープをつくる応援団」が増えていく可能性があるであろう。

２－３　コープ委員会の類型化

２－２では，コープ委員会の概要・その周辺との関係を述べた。しかし，コープ委員会の中でも様々なコープ委員会があり，違いや特徴が見られる。この節では，活動内容を決める意志決定の違

いに注目し，コープ委員会を3タイプに類型化していく。

(1) コープ委員長主導型コープ委員会

この型のコープ委員会は，コープ委員長が活動の運営・企画立案を中心に行なうコープ委員会である。コープ委員長が，日常生活で感じられる疑問・要望を自らが持っている知識・方法を用いて，従来行ってきた活動や他コープ委員会の活動や中央組織委員会が提案する活動を参考にし，活動内容を考えていく。委員長は自分だけのニーズで活動を組み立てているのではなく，他のコープ委員や参加してもらいたい組合員にも，こういうことを知ってもらえたら役に立つのではないか・喜ばれるのではないかという視点（委員長から判断した組合員のニーズ）で活動を考えている。コープ委員が集まる月1回のコープ委員会で，委員長がその案を提案し，議論はするが，コープ委員からはいつでも意見が出されることはまれである。コープ委員にとってコープ委員会が意見を言える場になっていない訳ではないが，コープ委員に感想や意見を求めるが，「これで良いのではないか」ということ判断し，企画案が通ってしまう。

例えば，A店コープ委員会がこの型になるのだが，コープ委員長が料理学校で学んだ経験やコープ委員長会議で知った活動方法を活かして，活動内容を決めていく。食品の添加物の危険性やコープ商品の良さを料理講習会や実験を通して学んでいく活動といういう面では，他のコープ委員会の活動とは変わりないが，料理を作るにしても，食材の下ごしらえの仕方や出来あがった料理の盛り付け方を講習内容に盛り込んでいる。このように，もっとこうすれば料理の加工・利用法のアイディアを持っているのが彼女の得意技である。コープ委員にとって，それは自分が持っている以上の知識であって，それで組合員にも満足してもらえるだろうと考える。コープ委員長はコープ委員にとって，共に活動をする仲間という側面もあり，‘料理の先生’という側面もある。

また，B店コープ委員会もこの型になる。B店コープ委員長が委員長から判断した組合員のニーズから活動内容を考えていくのだが，コープ委員会の時に「次回以降はどのような活動を取り組みたいのか，どのようなテーマを設定して活動するのか」をコープ委員に問いかけ，その意見を参考にして活動を考えていく。

(2) コープ委員会全体での合意形成型コープ委員会

この型のコープ委員会は，コープ委員長とコープ委員の間に隔たりはなく，共に同じ立場に立ち，提案し，議論し，活動を組み立てて行く。コープ委員長が重点商品計画と具体的活動例をコープ委員長会議で知り，それをコープ委員会に降ろしてくる点は(1)と同じである。コープ委員からも自らが行いたい活動の提案がされるという点は(1)と違う。また，それにより委員長の役割も変わり，活動を主導していく役割ではなく，コープ委員が主体的になる活動のサポート役であり，店長との打ち合わせなどを担当している。

例えば，C店コープ委員会がこの類型に入る。まずはコープ委員長が重点商品計画を知る。そして，重点商品計画を参考に委員長は商品学習活動を考え，提案する。この場合，委員長は本部が推進していることを委員長だからやらなくてはいけないというのではなく，C店コープ委員長自身が食の安全を求めて活動している。また，他のコープ委員からはユニセフに募金をする為にバザーをやりたいという風に，コープ委員からも活動が提案される。そして，コープ委員会の場で内容・何を組合員に伝えていくのかを議論し，活動を決定していく。

(3)　コープ委員会のリーダー層主導型コープ委員会

この型のコープ委員会は，コープ委員長を中心とする数名のコープ委員集団がコープ委員の意見を反映させつつ活動内容を決めていくコープ委員会である。コープ委員長が重点商品計画と具体的活動例をコープ委員長会議で知り，それをコープ委員会に降ろしてくる点は(2)と同じであり，委員長が提案する活動が委員会活動として通っていくのは(1)と同じである。委員長が「何か行いたい活動はありませんか？」とコープ委員に提案するとコープ委員からは意見は出されないのだが，その後委員長を初めとするリーダー層が「こういう事をやりのたいのですが，どう思いますか？」と提案すると「これで良いのではないか」ということで企画案が通ってしまう。

D店のコープ委員会がこの類型に入るが，この店舗ではまだ組織委員会制度が残されており，リーダー層（コープ委員長１人，副委員長２人）にあたる人たちは，コープ委員会以前から活動に関わってきていた組織委員であり，コープ委員は，月１回のコープ委員会・会員の集いへ出席しているが，組織委員会は週３日は店舗で仕事をするという決まりがある。店頭での商品のお勧め，クラブ員たよりを配布しながら組合員宅を訪れる対話活動，大袋詰めなども行っており，より積極的に多くの活動を行っている。

【表３－４】コープ委員会類型別特徴点

	「委員長主導型」		「合意形成型」	「リーダー層主導型」
	A店コープ委員会	B店コープ委員会	C店コープ委員会	D店コープ委員会
構　成	21人(30代1人，40代1人，50代60代19人)，全員女性，全員専業主婦，コープ委員が出来てからコープ委員になった人2人，従来から活動に関わっていた人19人	17人(30代1人，40代5人，50代11人，60代1人)，全員女性，全員専業主婦，コープ委員が出来てからコープ委員になった人5人，従来から活動に関わっていた人12人	7人(40代1人，50代5人，70代1人)，全員女性，全員専業主婦，コープ委員が出来てからコープ委員になった人1人，従来から活動に関わっていた人6人，地方理事会に参加していた組合員が継続してコープ委員になった	22人(30代1人，40代5人，50代11人，60代1人)，全員女性，全員専業主婦，コープ委員が出来てからコープ委員になった人5人，従来から活動に関わっていた人12人，地方理事会に参加していた組合員が継続してコープ委員になった
コープ委員会の目的	店舗を使うだけでは分からない生協の取り組みを伝え，店舗を盛り上げ，売り上げを上げる。組合員の色々な知識を交換する	生協商品の良さを伝える	生協の安心安全な商品を扱っているという事を組合員に伝えて，買い支えを実現する橋渡し	生活の知恵を広げていき，店舗の再生・売り上げ向上

活動の意志決定	委員長が活動内容の提案をし，活動が決まる。コープ委員長が持っている知識・技術の範囲で活動内容を提案し，コープ委員が賛同はするが意見は出さない	委員長が活動内容の提案をし，活動が決まる。その後重点商品を事前にコープ委員会で使い，自分たちの実感で商品を選択し活動を企画…共感の生まれ	コープ委員が行いたい活動をそれぞれ提案し，議論して内容・主旨を確認	委員長が何をやりたいのか委員に問うが，何も出てこない。委員長が活動内容の提案をし，決まる。旧来の組織委員会制度（コープ委員長1人，副委員長2人の計3人が組織委員）が残っている。組合員活動のうち月1回の委員会，会員の集いはコープ委員活動。その他店頭配り，戸別訪問等は組織委員会が行う
活動内容	カッテージチーズ講習会，キムチ作り，産地見学会報告，新米食べ比べ，牛肉サラダ・ポン酢卵作り。食品衛生法学習会・改正署名活動，廃油石鹸作り，鮭飯ずし作り	保健婦を講師に迎えて糖尿病勉強会・糖尿病食事メニュー講習会，手作りソーセージ作り，秋の見学会（再生紙工場），食品衛生法学習会・改正署名活動，古着バザー，カレンダーバザー	食品衛生法学習会・改正署名活動，牛肉料理講習会，ユニセフ基金バザー，玄米漬け，キャラメル作り，余湖農園見学会	ココア・スキムミルクの店頭配布，洗濯洗剤の発色剤実験，食品衛生法学習会・署名活動
組合員に知らせる方法	店別ニュース（協同購入支部にも500部配布），掲示板	店別ニュース，掲示板	店別ニュース，掲示板	店別ニュース，掲示板
悩み	コープ委員会内でのコミュニケーションの取り方→コープ委員にもやりたいことを出して欲しい。若い組合員をコープ委員会の活動に参加させたい。クラブの利点をどのように出すか	若い組合員をターゲットにしたい→活動に託児を付けた	若い組合員をターゲットにしたい→対象を今活動に参加してくれる組合員の子の世代に絞っている	若い組合員をターゲットにしたい→活動に託児を付けた，どのようにしたら多くの組合員に生協の良さ・組合員の知恵を伝えられるだろうか→対象を定める，町内の人との対話
クラブとの関係	クラブ員は情報を受け取る，店舗を使う，声を上げるという位置づけ。大袋で店別ニュースを配布するが取りにこないキャップもいる。コープ委員のほとんどがクラブ員	大袋で店別ニュースを配布するが取りにこないキャップもいる。	大袋で店別ニュースを配布するが取りにこないキャップもいる。	大袋で店別ニュースを配布するが取りにこないキャップもいる。
グループ・サークルとの関係	内容には踏み込まず，ノータッチ	グループは解散，従来の活動の一部をコープ委員会活動として行う	従来の活動の一部をコープ委員会活動として行う	サークルの人に店別ニュースを配布，コープ委員の人が国際友好・福祉をテーマに組合員をボランティアとして組織して活動
協同購入支部との関係	店別ニュースを配布してるがなかなか見てもらえてない。協同購入支部委員会と合同学習会を開いた	協同購入が会議場所として店舗を利用	協同購入が会議場所として店舗を利用	協同購入が会議場所として店舗を利用，コープ委員が協同購入の普及の為のビラ配りの支援をする
生協職員との関係	コープ委員会で商品を使いたい場合は予め店長と打ち合わせる	コープ委員会で商品を使いたい場合は予め店長と打ち合わせる	コープ委員会で商品を使いたい場合は予め店長と打ち合わせる	コープ委員会で商品を使いたい場合は予め店長と打ち合わせる

3，コープ委員会活動における組合員の自立過程

コープ委員会活動に関わる動機は，食の安全追求の必要性からの参加，もしくは，家庭内での時間的余裕を解消する為に他者との交流を求めて参加した事である。ところが，活動に参加していくうちに徐々に組合員の意識が変わっていく。この節では，その意識変化（自立）の過程を段階別に見ていく。

(1) コープ委員長主導型コープ委員会（A店・B店コープ委員会）

第一段階では，自分が抱えている悩みを解消したり，要望を実現するために行動することから始まる。「何かをやってみたい」という自己実現の要求と「コープ委員会はいろいろなことが出来る」という見通しが一致し，コープ委員会に参加する意識が出来るのである。コープ委員会に入って，これをやりたいという具体的なイメージやその為に自分がどのように行動するのかというイメージを持っていた訳ではなく，コープ委員会に参加したら何かを得る事が出来るという段階である。そのような姿勢は，他のコープ委員に助けてもらう，援助してもらうという意識が潜在している。

> 「店舗で配っていたコープ委員募集のビラを見て，いろいろ活動してみたいと思って，コープ委員に入りました。いろいろな事に興味を持つと行動に移す人間なので，色々活動出来るんじゃないかというのがコープ委員に入った一番の理由です」（A店コープ委員長の聞き取り）

第二段階では，自分の興味・特技を活かして，より自分にとって意味のある活動を作っていく段階に移る。コープ委員会に参加したコープ委員は，コープ委員同士の交流を通して，他のコープ委員や組合員が同じ要望を持って参加していることを知り，共感が生まれる。その中で，アドバイスをし合う関係にもなる。

そして，自らで活動を作りたいと考えるようになる。この時点では，「自分がどのような活動をしたいのか」という悩みを抱えている。それは，従来の上意下達で活動を行う体制からコープ委員制度になった事によって，自主的な活動がコープ委員に求められるようになったからであす。特に，A店コープ委員長は，コープ委員になった直後にコープ委員長になり，「何か活動をやらなければいけない，活動を続けなければいけない」というプレッシャーもあった。

> 「初めは，「何をやっても良い」と言われていたが，そんな事言われても「何をしようかな？」と思っていた。地方理事会があった時は，経営や売り上げに繋がる事を行うという目的があって，その為に活動をしてきたが，今はその目的もなくなっていたし」（B店コープ委員長の聞き取り）

その悩みは，今まで行ってきた活動事例や他のコープ委員の活動事例を知る事によって解消され，「コープ委員会では組合員が楽しいな・役に立った・勉強になったと思える楽しい活動を行っていけば良いのだ」（B店コープ委員長の聞き取り）という意識を持つようになる。そして，今まで行ってきた活動事例や他のコープ委員の活動事例を参考にして，アレンジする。そして，活動をアレンジする際に自分が持っていた料理に関する知識を用いることが出来ると気付き，自分の知識・技術で企画をアレンジするようになる。自分の得意分野を活かすことが出来ることによる自己への満足とそれにより周りのコープ委員・組合員に喜ばれる，役に立っている事が意義ややりがいとして感じられるようになる。

「会員の集いでカッテージチーズ作りをしました。なぜ生協にカッテージチーズが売ってないのかという私の疑問から始まったんですけど，市販のカッテージチーズには，食品添加物が入っていて，特に子供の体に危険なんです。でも，カッテージチーズは家庭でも簡単に作れるんですよね。だから，カッテージチーズ講習会を開いて，組合員さんを集めて，食品添加物を使わずに，コープ牛乳を使って，カッテージチーズを作りながら，なぜ生協では置いてないのかを切り口にして，食品添加物の危険性を勉強しました。少ない人数だけど，参加者には意味のある事だったみたいです」（A店コープ委員の聞き取り）

第三段階として，他コープ委員やクラブ員を始めとする組合員との関係を見直し，相互援助の段階へ移行する。自分のやりたいことが出来るという実感から，自ら活動のフィールドにしているコープ委員会に目を向け，コープ委員会とはどのような場所なのか，コープ委員同士・コープ委員とクラブとの間にどのような関係を作っていきたいのかを考えるようになる。目標が〝自分が行いたい活動〟から〝自分たち組合員が行いたい活動〟作りへと変わり，コープ委員会は自分一人で行うものではなく，お互いに助け合いながら作るもの・組合員の要望を汲んで実現していくものだという理解へと変わる。「他のコープ委員にも意見を出して欲しい」と悩むのである。

「いろんな知識を交換する場が，コープ委員会だと思う。年齢ごとに違う経験や一人一人で違う生活のんかの知識や知恵を交換する場だと思います」（A店コープ委員の聞き取り）

「店舗周辺には老人が多く，苦労しながら年金生活を送っています。古着バザーは「これくらいの安い値段だと助かるわぁ」と言われて，喜ばれてる。「忙しかったらバザーはやらなくても良いよ」と言う意見もありましたが，コープ委員会で話し合って，「でも，組合員に喜ばれてるんだから続けよう」という事になった。この間もカレンダーバザーをやりました。家にこもって他との交流がない年金者は，他からカレンダーをもらう事がないので，待っている方がたくさんいるし，楽しみにしている。「また来年もやって下さい」なんて言われたりして，

「また来年も頑張ってやろう」と思いました」（B店コープ委員の聞き取り）

また，他者との関係の見直しや組合員のニーズを探る事が家族を取り巻く地域・社会に目を向けさせることになり，どのような問題が家族に降りかかっているのか，それはなぜかを考えていこうとする。そして，自分が被害者でもあり加害者でもあるという自己の矛盾に気付き，解決方法は自らのどのような生き方にあるのかを考え始める事により，地域を守りたいと考え始めた。

「北海道全体の事，特に農業の事を考える大切さが自分の生活との関わりの中で考えられるようになりました。例えば，今までは内地産のお米を食べていたんですけど，北海道のお米の方が農薬が少なくて安全だし，それを食べたいと思ったんです。そしたら北海道産のお米を食べる事によって北海道の農家の人・農業を守っていきたいと考えるようになりました」（B店コープ委員の聞き取り）

(2)　コープ委員会全体での合意形成型コープ委員会（C店コープ委員会）

第一段階では，(1)「委員長主導型」と同様に，自分が抱えている悩みを解消したり，要望を実現するために行動することから始まる。「生協が取り組んでいる食の安心安全を家族に提供したいので，商品知識をもっと知りたい」という要求と「コープ委員会はそれが知ることが出来る」という見通しが一致し，コープ委員会に参加する意識が出来る。そのような姿勢は，他のコープ委員に助けてもらう，援助してもらうという意識が潜在している。

「自分や家族の為に家族の食卓に安心安全な料理を届けたいと思い，コープ委員会に入りました。生協に行って買い物をしているだけでは，生協で売っている商品は安全なのかまでは分からなくて，でも，生協だから安全だろうなと思って買っていた。その時丁度コープ委員を募集していると知って，コープ委員会に入ったらもっと生協商品の事を知ることが出来ると思って入りました」（C店コープ委員の聞き取り）

第二段階では，コープ委員との相互援助の段階へと移る。食に関する知りたいことを知ることが出来て，自分や家族の為になると実感する。

「安いという誘惑に負けてコープ商品ではなくて，市販のパンを買う事もあるんです。でも，娘に「お母さん，これ美味しくない。でも，残して捨てるのはもったいないから今回は食べるけど，今度からは2度と買ってこないでね」と言われた。20数年食べ続けてきたコープ商品の味に慣れた娘からそのように言われた時に，ずっと食べさせ続けてきたからなぜそういう食べ

物を食べるのが大事なのかを体で感じてもらえてるので私のやってきた事は間違いじゃなかったと実感しました。家族の支えがあったから，今まで続けられてきた。いくら自分が生協運動は良い事だ・コープ商品は良い商品だと思っていても，家族の支持がなかったら，私のやってきた事は何だったのかと思ってしまい辛い。でも，娘に言われた事で，やっぱり原点に戻ってコープ商品を使い続けようと思いました」（C店コープ委員の聞き取り）

そして，なぜ知ることが出来たのかを考えるようになる。コープ委員同士での交流によって生まれる共感やアドバイスによって実現されたことを理解し，コープ委員会は自分ひとりで行うものではなく，お互い助け合いながら行うものであると考える。すると他のコープ委員や組合員がどのような要望を持っているのか，どのような活動を行ないたいと思っているのかという事に目を向ける事が出来るようになる。お互い助け合うという事は，コープ委員同士の共感を伴い，月１回行なわれるコープ委員会の場で具体化されている。

「新しくコープ委員会になったからと言って今までやってきた活動を切り捨てるのは駄目だと思います。だから，コープ委員会の場では，どのような内容で，どのような事を組合員に伝えていくのかという事を話し合います。今会っている人はたった１人かもしれないけど，その人の背後には家族や友人などたくさんの人がいるじゃないですか。今会う一人ひとりのポリシーや意識を大切にして，自分の中で納得して生協に関わる組合員を増やしていきたいです。」（C店コープ委員の聞き取り）

他のコープ委員のやりたい事を援助できるようになる。また，この段階では更に自分の興味ある事に対する学習意欲も高まり，C店コープ委員長は商品委員会（本部の商品部が主催）に参加するなどの変化が見られる。

第三段階では，自らの生き方を考える事が出来るようになったコープ委員は，自分や家族が住んでいる地域に視野を広げ，自分や家族が住んでいる場所や人間関係を如何に良いものに変えていくのかを考えるようになる。それは，多くの人間と力を合わせる事で，地域を変える事が出来るのではないかという可能性が見えてきたからである。

「食の安全を守りたいと思ったら，食品は自然の中に良い土や育てる人が必要になってくるので，環境の改善や農業人口の確保も大切な問題になってきます。その為に多くの人がそれぞれの出きる事を行なって守っていかなければならない。活動を通して多くの人に伝えていきたいと思うのは，多くの人の力があれば社会を変える事が出来るのではないかという可能性が見えて来たり，それが生協で出来るのではないかと思っているからです」（C店コープ委員の聞き取り）

(3)　コープ委員会のリーダー層主導型コープ委員会（D店コープ委員会）

第一段階では，(1)「委員長主導型」と同様に，自分が抱えている悩みを解消したり，要望を実現するために行動することから始まる。「生協が取り組んでいる食の安心安全は家族に提供したいので，もっと知りたい」という要求と「コープ委員会はそれが知ることが出来る」という見通しが一致し，コープ委員会に参加する意識が出来る。他のコープ委員に助けてもらう，援助してもらうという意識が潜在している。また，家庭以外にも自分が活躍するフィールドや他者との関わりを求めて積極的に参加したいという思いを持っている。

「総代会で総代をされていた女性が壇上で延々と堂々と話をする姿に感激し，組織委員になりました。こういうことを考えて自信を持って行動している女性がいるのだ，自分も出来るかなと新しい世界に目覚めたんです」（D店コープ委員の聞き取り）

第二段階では，活動を通して自分の役に立つという実感を得る段階である。コープ委員会での交流を通して，生活の知恵を知り，学習を通して社会に目を向け，なぜそれが起こるのか，自分との関係はどこにあるのか，どのようにしたら解決できるのかを考え，行動する。そして，コープ委員会の活動は日常生活をおもしろくさせてくれる，学習すれば避けられることもあると感じ，活動は役に立つのだと実感する。

「コープ委員会になってからは今まで関わっていたグループ活動以外にも商品活動を行なうようになりました。でも，もともと生協商品を買いたい・その為に生協のお手伝いをしたいというのが活動に関わったきっかけですから，活動が増えるからとかグループ活動だけやりたいから商品活動はやりたくないとは思わなかった。それよりも，商品について知識が増えたりて，自分で安全な商品を選ぶ事が出来るようになったりなど楽しさの方が大きかったです」（D店コープ委員の聞き取り）

第三段階では，生活の役に立つのだから他の人にも広めたい，他のコープ委員にはどういうことが役立つことなのだろうかと他の組合員へと視野が広くなる。自分以外の組合員に目が向くのは，(1)(2)のコープ委員会と同じである。しかし，D店コープ委員会には組合員活動のリーダー層となっている組織委員会が残っており，地方理事会があった時期は総代と組織委員会で行っていた戸別訪問などの周辺的な活動や事務局的な仕事を最低でも週3日をこなしている。コープ委員の中にもコープ委員は月1回は集まって興味のあることを行ったり，地域に広げていくという役割を持っているが，組織委員会は週3日は店舗に出ていくという決まりもあり，生協職員のような仕事もするのでコープ委員とは違うという意識があり，組織委員がリーダー層へとなっていく。

「コープ委員会の場で「何かやりたい事や取り組みたいテーマはありませんか？」と私が提案しても，何も出てこないので，私が「～～な活動をしたいのですが，どうですか？」と話を振ると「いいですね」と他のコープ委員が発言して，活動になっていく。新聞やテレビを見ていて他の団体がこんな活動をしているという事を知ったり，今社会や地域ではこんな事が話題になっていると知ることで，コープ委員会ではこんな活動が出来るのではないかと私は発想するんです。ある意味そのような日常感じる普通の感覚を持っていれば何かひらめくと思うんですけどね？」（D店コープ委員長の聞き取り）

またこの段階では，他者に視点が行く事により地域のあり方を考えるようになる。

「活動に関わって社会について考えるようになりました。家族にとって政治や経済がどうなったら良いのだろうかと考えて，さらに日本や世界がどのようになったら良いのかを考えるようになりました。企業が作った便利なラップよりも環境の負荷にならないコープ商品のラップの方が良いと思った時に，企業を排除したくなりますが，その時に企業に勤めている社員やその家族は成り立つのだろうかと考えています。どのようにしたら全員が共存していけるのかを考える際限ないので，放送大学にでも行って勉強しようと思っています」（D店コープ委員長の聞き取り）

コープ委員会活動は，組合員を組織し，生協・商品を通してよりよい生活を送れるようになること，個々の要求としては家族に安心安全な食べ物を提供するを目的にして活動してきた。コープ委員会の場が，組合員の生活を語り，自己や地域の課題を認識し，蓄積・解決する場になってきた。

【表３－５】　コープ委員の自立過程

	委員長主導型		合意形成型	リーダー層主導型
	A店コープ委員会	B店コープ委員会	C店コープ委員会	D店コープ委員会
第一段階	悩み解消，要望実現の為に参加する意識→受け身的姿勢		悩み解消，要望実現の為に参加する意識→受け身的姿勢	悩み解消，要望実現の為に参加する意識→受け身的姿勢
第二段階	自分の興味・特技を活かして意味のある活動を作っていく，他の組合員に自分が発信した事で喜んでもらい，役立てて嬉しいという実感		他のコープ委員との相互扶助	自分のやりたいことが出来るという実感。他の組合員に新しい事を知ってもらい喜んでもらい，役立てて嬉しいという実感
第三段階	他コープ委員との相互扶助，地域のあり方を考える		自分や家族が住んでいる地域に視野を広げ，どのような生活を送りたいのかを考える	周りの組合員の要望も組み入れて取り組みたいと思い，意見を聞く姿勢を持つ

それは生協に関わることにより，個人・家族の枠から地域が見えてきたということである。

活動を始めた段階では，自分や家族の為に行動を起こし，その後他のコープ委員にも目を向け，コープ委員同士で支え合うことが大切だと認識が出来ている点は各類型にも共通している。また，商品知識を学習する事により，環境・農業のことなど，今まで知らなかった社会に目を向け，視野が広がり，家庭生活を自信持って過ごせるようになった。つまり，コープ委員会は自分や家族の為に何かやりたいと思い行動した結果，子育てを初めとする家庭生活への自信の獲得と地域を変えていくことが出来るという自信を獲得した。また，それが個人ではなくコープ委員会という集団の中で実現したことによって，相互援助・協同の必要性も認識することとなる。今後は，どのような人にどのように受け止められたのかを個々のコープ委員が考え，活動を総括することが必要だと思われる。自らの活動を評価できるようになると，より多くの組合員を組織できる活動へと広がるだろう。

4，結　　論

今日の日本では，資本主義の発展は，商品化という受動的な側面を持ちながら進行してきた。そのような中で，自己を対象化させ，一人一人の人間が社会の中でどのように生きていくのかという事を考える必要があり，それを自分の生き方として具体的行動に結びつけていかなければならない。

コープさっぽろのコープ委員活動はその課題を解決する為に生まれ，抱えている課題をコープ委員同士で共有し，解決してきた。「自分や家族の為になることをやりたい」「家庭の外の地域で自分の存在価値を見出したい，役割を担いたい」と思いコープ委員に関わりを持ったコープ委員たちは，家庭の中での限られた人間関係の中では実現出来なかった新しい発見や人間同士の共感・相互援助を実感出来るようになった。そして，自分・家族が住んでいる地域に目を向け，地域の中にどのような場所・人間関係を作っていきたいのかを考えるようになった。今後は，地域の課題をどう解決していくのかを考え，それが地域の組合員に受け入れられたかどうかを調べる段階へと移ることが組合員の主体性として求められている。

最後に組合員の自立過程を踏まえて，今後のコープさっぽろの課題を述べる。

・組合員の組織（クラブ，サークル，グループ，協同購入活動，中央組織委員会）との連携

基礎組織としてのクラブ，組合員の自主的にテーマを設け活動するサークル・グループ，店舗形態をもたずに組合員活動が行なわれる協同購入支部委員会と基礎組織の班は，どれもコープ委員会活動と同様に組合員の集団であり，コープ委員会とは違った目的・特徴・利点がある。組合員の声に依拠しつつ，それを実現させる為に，既存の組合員組織をどう結びつけていくのかが課題になっている。また，コープ委員長の運営の仕方によって，コープ委員会の発展に影響を与えることを考

えると，中央組織委員のコープ委員長への関わりが問われてくる。

・事業との連携，生協労働の転換

コープ委員会の活動が最終的には店舗再生を目的にしているので，学習した後，組合員が商品を買える状況を作る，買った商品を使ってみた反応を追って，さらに多くの人にその思いを組合員に伝えるという過程が必要になっている。しかし，コープ委員会で商品について学んでも，商品が店舗に置いてなかったり，売り切れになることがあった。組合員の自主的な活動を重視する為に職員が介入しないというのがコープ委員会だが，コープ委員がはじめから自主的で組織的な活動が出来るわけでもなく，また事業との連携が必要な場面もある。自主性を大事にして何も介入しないのは，今ある自主性を潰さないという配慮かもしれないが，自主性を育てるという観点から見ると組合員活動を支援することが生協職員に求められており，その専門性の向上が問われているのではないだろうか。

主体である組合員が抱えている課題によって，組合員の組織や生協職員の役割が変わっていく。この章の冒頭で述べたような生きにくい社会で矛盾を抱えざるを得ないこの時代をチャンスとして受けとめ，まずは一人一人の組合員が自己の生活を変える主体になること大切である。そのような主体が結合する生協が，主体に応じて自らを再編していくことにより，今後発展する可能性があるのではないか。

【参考文献・資料一覧】

・奥谷松谷著「改訂・増補　日本生活協同組合史」（民主社，1973 年）
・田中秀樹著「消費者の生協からの転換」（日本経済論社，1998 年）
・21 世紀生協理論研究会編「現代生協改革の展望～古い協同から新しい協同へ～」（大月書店，2000 年）
・野村秀和，生田靖，川口清史編「転換期の生活協同組合」（大月書店，1986 年）
・大内力監修，生協総合研究所編「協同組合の新世紀～生協運動の新たな発展をもとめて～」（コープ出版，1992 年）
・富沢賢治，川口清史編「非営利・協同セクターの理論と現実～参加型社会システムを求めて～」（日本経済論社，1997 年）
・ジョンストン・パーチャル著，都築忠七監訳「国際協同組合運動～モラル・エコノミーをめざして～」（家の光協会，1999 年）
・パトリシア・クラントン著，入江直子・豊田千代子・三輪健二訳「おとなの学びを拓く～自己決定と意識変容を目指して」（鳳書房，1999年）
・生活協同組合市民生協コープさっぽろ編「コープさっぽろ 30 年の歩み～コープさっぽろ 30 年史

～」(1995年)
・生活協同組合市民生協編「コープママさん奮戦記～市民生協20周年記念～」(1975年)
・生活協同組合市民生協コープさっぽろ「1996年度事業報告書・事業計画書～コープさっぽろ定例総代会議案」(1996年)
・生活協同組合市民生協コープさっぽろ「1997年度事業報告書・事業計画書～コープさっぽろ定例総代会議案」(1997年)
・生活協同組合市民生協コープさっぽろ「1998年度事業報告書・事業計画書～コープさっぽろ定例総代会議案」(1998年)
・生活協同組合市民生協コープさっぽろ「第34回総代会議案書(Ⅰ)」(1999年)
・生活協同組合市民生協コープさっぽろ「臨時総代会議案書」(2000年)
・生活協同組合市民生協コープさっぽろ「第35回総代会議案書(Ⅰ),(Ⅱ)」(2000年)
・㈱コープ生活文化研究所編集・発行「コープ生活文化研究所調査研究論集」(1998年)
・生活協同組合市民生協コープさっぽろ「1999年度版コープ委員会活動のしおり～はじめて委員になった皆さんの手引き」(1999年)
・生活協同組合市民生協コープさっぽろ中央組織委員会「2000年度下半期組合員学習資料　21世紀に向けて　わたしのコープ～変わらぬねがい,食の安全くらしの安全」(2000年)

【別紙１】全コープ委員会活動内容一覧表（1999年８月～11月）

道央１地区店舗

	8月の活動	9月の活動	10月の活動	11月の活動
1			セフターEの実験，無洗米の試食	柿と白菜のサラダ作り，友愛セール
2		ソーセージの食べ比べ・学習	新米試食宣伝，北原さんちの玉ねぎを使ってサラダ餃子・豆腐のサラダ試食宣伝	みかん食べ比べ，ミックスキャロットゼリー作り，無洗米を使って野菜寿司・玉ねぎとハムのグラタン・北原さんちの玉ねぎを使った手作りドレッシング作り，産地見学会の報告
3		セフターEの普及，沖あみソーセージ試食	生野菜ちらし寿司・豆腐のサラダ試食，バザー	ほしのゆめ・きららの試食，和風ドレッシングを使って若鶏の煮物
4		玉ねぎ・コスモス卵料理講習会		
5		無洗米試食，十勝牛乳・ソーセージ・生ハムの試食，アセロラキャロット試食	「女性と年金」をテーマにして無洗米の試食	上期総代会，浜の母さん料理講習，署名活動
6			無洗米・コスモス卵・北原さんちの玉ねぎ・沖あみソーセージ試食・学習，親子参加学習会（環境問題にも触れ商品の試食）	高原牛と野菜たっぷりドレッシングの試食活動をしながら対話，ボーナスポイントお知らせの電話掛け
7		ミートソース・スパゲティ・粉チーズ試食，沖あみソーセージ試食，子育て学習会	無洗米の試食，無洗米・北原さんちの玉ねぎ・中札内豆腐・こすもす卵を使った料理試食，無洗米・玉ねぎ・卵でグラタンの学習・試食	「Coffee教室」（コーヒー豆専門店のマスターを招いておいしいコーヒーの落とし方・選び方），米油・ソーセージ・ドレッシング・醤油・ミックスキャロット・シーチキン・ケチャップの説明
8	さいころゲーム	ソーセージの食べ比べ		食の安全の学習会…試食会（牛肉のきんぴら，アルギットみかん，北原さんちの玉ねぎ，和風ドレッシング）
9		生ハム・十勝牛乳・コープ角食・幸水試食	沖あみソーセージ試食販売	料理講習会（北原さんちの玉ねぎ見学報告と実習→玉ねぎドレッシングと玉ねぎグラタン，コスモス卵を使ってゆで卵のポン酢漬け）
10	店舗ミニ夏祭り（おでん・とうきび・焼きそば・和菓子販売，パッチワークサークル発表，フリーマーケット），お菓子作り講習会	木綿豆腐とソーセージ（野菜炒め）の試食，食品衛生法学習，「介護を考える」学習会	無洗米のビデオ学習，食品衛生法（紙芝居）の学習，北原さんちのタマネギのドレッシング作り方講習，試食宣伝（コスモスの卵，味ポン付け，北原さんちのタマネギの宣伝・レシピ配布）	大雪高原牛とドレッシングの学習と試食，署名活動
11				
12	リサイクルクイズ，プラスチック収集についての学習会，牛乳・コロッケ試食	豆腐・ソーセージ学習	玉ねぎ産地見学報告をしコスモス卵・北原さんちの玉ねぎの試食	ほしのゆめ・牛肉・ドレッシングの試食，古くなった傘を利用した買い物袋作り
13		無洗米試食	コーヒー試飲	うま煮・卵焼き・あんまん・肉まん・みかん・バイエルフランクフルト・角食の試食，「介護保険の現状と今後について」（講師を呼んで学習会）
14	コアノン学習会，夏祭り，しそみそ作り，運河焼・ミックスジュース・うなぎ・夕張メロン・十勝牛乳試食試飲，バザー	豆腐の食べ比べ	豆腐の食べ比べ	北原さんちの玉ねぎドレッシングの試食，シチュー用むねぎも販売，年賀ハガキのあてな書き
15	生ハム・中札内豆腐・十勝牛乳・薩摩うなぎ・コーヒーゼリー試食	沖あみソーセージ・中札内豆腐試食	無洗米・コスモス卵・北原さんちの玉ねぎの説明・試食，セフターEの蛍光剤実験，かぼちゃケーキ作り，食品衛生法学習	シルキー団子・みちのく鶏たたき講習会
16			プラスチックゴミの学習会，介護のお話，試食（無洗米おにぎり，オニオンスライス，野菜たっぷりドレッシング）	野菜たっぷりドレッシングの店内試食，鮮度・店内チェック
17		さんま唐揚げ・沖あみソーセージ・梨の試食，日帰りバス旅行		無洗米と野菜たっぷりドレッシングの試食
18		十勝牛乳・ソーセージ・中札内木綿豆腐試食	お餅配り，きらら・柿試食会，北原さんちの玉ねぎ（スライス）・こすもす卵（ゆで卵）の学習・試食	石狩鍋（サケ）とクリームシチューを作り売場前にて試食，高原牛の学習会・すき焼きにて試食

19	あずみ野の緑茶試飲，ドライ大豆缶のサラダ試食，バザー	生ハム・ソーセージ試食，中札内豆腐・やわらか豆腐試食，無洗米試食	無着色函館産しおからの試食	試食会（北原さんちの玉ねぎ→玉ねぎとラッキョサラダ・玉ねぎグラタン，こすもす卵，新米きらら）
20		沖あみソーセージの食べ比べ，無洗米とソーセージカレー作り	北原さんちの玉ねぎ・コスモス卵を使って野菜の玉子綴じ・ほしのゆめ試食，干エビ・福神漬を使って着色料・添加物の学習	乾うどん釜上げ風の試食
21		非遺伝子組み替え大豆・添加物（リン酸塩）の学習・試食	栽培基準米きららを店頭で試食し，農薬回数など安全性の学習	
22	簡単クッキング（夏のさっぱりメニュー），十勝牛乳を使うホットケーキ試食，セフターEの実験（活性剤・蛍光剤）	セフターEの普及，かんたん料理講習会	無洗米の試食	ミニクッキング（とーふサラダを作り，ドレッシングで試食），オージービーフの研修報告会
23	生ハム試食，セフターE普及・蛍光剤学習，写真展		介護制度についてのお話，無洗米のビデオ学習，コスモス卵のポン酢漬け・無洗米での生野菜ずし試食	野菜たっぷりドレッシングの試食と学習
24	生ハム・牛乳の試食		コープのハム・北原さんちの玉ねぎとコスモスの卵を使ったグラタン試食	鱈のムニエルに和風ドレッシングを使った料理を学習
25	生ハムのタータステーキ試食	沖あみソーセージ・中札内豆腐試食	卵・無洗米のビデオ学習・試食	玉ねぎドレッシング・コスモス卵ポン酢漬けの学習と試食，店内ミニサークル展
26	牛乳（バナナケーキ）・生ハム（サラダ）試食，夏祭り（ボーリング，輪投げ，くじ引き，ヨーヨー釣り，綿あめ，リサイクルバザー，ビンゴゲーム）		コスモス卵の学習・フルーツホットケーキ作り試食，道産米の学習・試食，ポン酢卵・玉ねぎドレッシング・親子丼の試食	北原さんちの玉ねぎとドレッシングの学習・試食，バザー小物作り，シャケを丸ごと一本使った料理教室
27	生ハム食べ比べ，十勝牛乳によるカッテージチーズ作り		ほしのゆめを使った生野菜寿司作り・北海道米と無洗米の学習・試食	みちのく鶏とキノコのサラダを野菜たっぷりドレッシングを使い試食，高原牛のローストビーフ・コスモス卵のポン酢漬け・野菜たっぷりドレッシングの試食にて学習会
28	生ハムロース・チョコレート・おかき試食	沖あみソーセージの食べ比べ	コスモス卵→卵のマヨネーズ焼き，北原さんちの玉ねぎ→玉ねぎドレッシングサラダ，ほしのゆめ・きらら→ドライカレー試食会	大雪高原牛を使って柳川風牛丼の試食・学習，余湖農園学習会
29			餃子作り，コスモス卵・無洗米・日本の大豆醤油・日本の味サラダ油の説明	野菜たっぷりドレッシング・大雪高原牛の試食と学習会，簡単に出来ておいしい手作り料理（三色ご飯，ローストビーフ，二色寒天，鶏ひき肉の磯辺巻き）
30	簡単おやつとランチの講習会（二色ゼリー，ポテトグラタン）		無洗米・北原さんちの玉ねぎ・コスモス卵の学習・食事会	牛肉（バラ肉）とごぼうの柳川風・野菜サラダの学習・試食，みちのく鶏の野菜たっぷりドレッシング煮込み講習会

道央2地区店舗

	8月の活動	9月の活動	10月の活動	11月の活動
31				
32		バスツアー	無洗米と普通米の食べ比べ，廃油石けん作り	
33		抽選会	パークゴルフとバスツアー	野菜たっぷりドレッシングの学習・試食
34		電気講習会，ソーセージ・豆腐試食，食の安心安全講習会，豆腐グラタン試食	大雪高原牛産地学習，とうもろこし人形	大雪牛・ドレッシングの試食販売，きらら・ほしのゆめの食べ比べ・着色料の学習
35		化粧品の話し，無洗米の学習・試食	重点商品学習・試食，バザー，正しいレンジの使い方	牛肉と野菜たっぷりドレッシングを使ったしゃぶしゃぶ
36	生ハム・牛乳の食べ比べ・学習	セフターEのお勧め	コスモス卵を使ったお菓子作り，細工寿司講習	ミックスキャロットと彩果菜園の飲み比べ，大雪高原牛の試食，コスモス卵を使いどら焼き作り
37		沖あみソーセージ試食	道産米・北原さんちの玉ねぎ・大雪高原牛（牛肉と温野菜サラダ）の試食，廃油石けん作り	セフターE・大雪高原牛の学習会，野菜たっぷりドレッシングのサラダの試食，コープ赤飯用のあずき缶を使っての赤飯の試食，「コーヒーしませんか」（おいしいコーヒーの入れ方）

38				
39	国内麦北海道育ちソーメン（ソーメンサラダ，錦糸卵，大葉，きゅうり，かにかまぼこ），オレンジジュース・ところてん試食	マインハウゼン・黒かりんとう・沖あみソーセージ・幸水梨の試食	米探検隊（稲刈り体験，いもほり，農協との交流），バスレク（再生紙工場見学・温泉）	新米きららとほしのゆめの試食，UCCコーヒー教室，リサイクルバザー
40	バレンシアオレンジジュース試飲		無洗米による3色ご飯試食，UCCコーヒー講習会	AGFコーヒー教室（おいしいコーヒーの入れ方），ほしのゆめの試食，手漉きハガキ講習会
41				
42		生ハムの食べ比べ	無洗米のおにぎり・コスモス卵試食	手芸講習会，試食（北原さんちの玉ねぎ，野菜ドレッシング，コスモスの卵，オレンジジュース）
43	夏祭り（さいころゲーム）		廃油石けん作り，新米・豆腐試食	
44	「牛乳パックからコアノンへ」お話とビデオ上映，セフターEの溶け方・蛍光チェック，生ハム味比べ，十勝牛乳の学習・試飲			

道央3地区店舗

	8月の活動	9月の活動	10月の活動	11月の活動
45		豆腐の蒲焼き丼作り，中国うなぎの試食販売	焼きそば試食販売，ソーセージとねぎと人参の炒め試食販売	
46	そうめん・つゆ試食	平和キルトの会，中札内豆腐食べ比べ，豆腐グラタン講習・試食	沖あみソーセージ・中札内豆腐学習会，見学旅行	試食（新米きらら，鶏のスペアリブ野菜ドレッシング煮込み），大雪高原牛のしゃぶしゃぶ，平和キルト作り，ふくろう作り
47	トマト試食	セフターEの普及，かりんとう・梨の試食	バザー，見学バスツアー	手作り年賀状，マインハウゼンの試食・発色剤の学習，サニーブ・アーモンドリーフパイの試食
48				手作りソーセージ作り、野菜たっぷりドレッシングの学習
49	夏祭り	糖尿病予防講習会	糖尿病の栄養管理，再生紙工場見学，ソーセージ作り，セフターEの洗剤テスト	ソーセージ作り，セフターE洗剤テスト
50	牛乳試飲，生ハム試食	カッテーズチーズ作り，沖あみソーセージの食べ比べ，十勝牛乳の試飲		友愛セール
51	親子カッテージチーズ作り体験会（十勝牛乳）	食の安全学習会	ふれあい簡単クッキング「お弁当」（エビチラシ寿司，タンドリーチキン風，中札内豆腐サラダ，里芋の黄粉和え，二色に分かれるオレンジムース），豆腐でおやつクッキング（絹ごしレアケーキ，豆腐ドーナッツ，シルキー団子）	牛肉サラダ作り・新米食べ比べ・ポン酢卵，ふれあい簡単クッキング（豆腐入りヘルシーソーセージ作りと発色剤のテスト）
52	夏祭り（ゲーム，すいか割り）	十勝牛乳・豆腐試食，バス見学会		牛肉のごぼう煮試食
53				
54	夏祭り，カッテージチーズ作り	「北電による電気製品の上手な買い方使い方」勉強会，カルピスの作り方講習・生ハムの食べ比べ	ソーセージ作り講習会，タオル人形作り，玉ねぎドレッシング・あづみののお茶・新製品ミニ今川焼き試食，食品衛生法学習，見学旅行	ポン酢卵・納豆あげ餃子・枝豆ごはん作り，「北電による3回目電気の話」，豆腐グラタン・ローストビーフ作り，オムレツバナナ・シーチキンと野菜ミックスのピラフ作り，美肌化粧水学習会
55	梅ジュース作り，生ロースハム巻き試食，母と子の平和展	余湖農園見学旅行	コスモス卵の五目焼き・生野菜サラダ・十勝小豆のお汁粉，北原さんちの玉ねぎ試食（玉ねぎのスライス，天ぷら），バスツアー（再生紙工場・果樹園）	鱈の和風ムニエル・牛肉の野菜のサラダ・牛肉の甘味噌炒めの試食，玄米漬け
56			細工寿司・ポン酢卵講習会	手作り細工ずし講習会（無洗米），ポン酢卵のレシピ実演（コスモス卵）
57				
58			コスモス卵見学報告，玉ねぎドレッシング	バザー，玉ねぎドレッシング・飯ずし講習会
59	夏祭り			

60		ラベンダーハット作り，無洗米試食	食品衛生法学習，無洗米と普通米の食べ比べ，手作りウインナー・手作りふりかけ講習	野菜ドレッシングを茹でたもやしにかけて試食と学習
61	七夕祭り		コスモス卵を使ったシホンケーキ試食	ミックスキャロットとホットケーキミックスのお菓子試食（発色テスト），野菜たっぷりドレッシング・大雪高原牛の学習・店内にレシピを置く
62				

道北地区店舗

	8月の活動	9月の活動	10月の活動	11月の活動
63				野菜たっぷりドレッシングを使い大根サラダ作り
64	十勝牛乳のミルクセーキ・冷や奴・生ハムロース試食		新米きらら・ほしのゆめ試食	高原牛とドレッシングと野菜（白菜・えのき）の試食
65	生ハム・十勝牛乳の学習・試食	沖あみソーセージ学習・試食，無洗米・コスモス卵（ゆで卵）・高原牛（ローストビーフ）講習	大雪高原牛のローストビーフ（野菜たっぷりドレッシングをかけて）試食，無洗米とコスモス卵の学習試食	ミックスキャロットを使ったにんじん毛詰栗，大雪高原牛を使ったローストビーフ作り（野菜たっぷりドレッシングをかけた）
66	十勝牛乳試飲，さいころゲーム	沖あみソーセージ学習・試食	男爵いも試食販売，おにぎり試食	野菜たっぷりドレッシングの試食
67		オープンサンド・変わり冷や奴学習会，手打ちうどん作り	無洗米試食・コスモスの卵→目玉焼きにて試食	野菜たっぷりドレッシング・大雪高原牛・ミックスキャロット・アルギットみかんの学習，こってり鶏の煮込み
68		タータルステーキ試食	中札内豆腐を使って固くならないおだんご作り	新米きらら試食，野菜たっぷり和風ドレッシングで豆腐をあえてサラダにして試食，ケーキ試食
69	セフターE実験（安全性，汚れ落ち），無洗米試食			
70	生ハム・十勝牛乳試食試飲	沖あみソーセージ・中札内豆腐試食	コスモス卵→ゆで卵試食，北原さんちの玉ねぎ→普通の玉ねぎとの食べ比べ，無洗米試食，道産米のちらし寿司試食	野菜たっぷりドレッシングを豚肉にかけて試食，大雪高原牛のたたき試食
71	セフターE学習会（蛍光剤）	牛乳・生ハムの学習会，無洗米試食		
72				商品を使って学習・試食
73	生ハムのマリネ試食，友愛バザー	中札内木綿豆腐・沖あみソーセージ学習・試食	無洗米試食	米・牛肉・ドレッシングの学習・試食
74				
75	セフターE普及，生ハム・十勝牛乳試食			商品を使って簡単料理作り・試食
76	牛乳の学習，生ハムの食べ比べ			野菜たっぷりドレッシングを使い大根サラダ・高原牛を使いすきやき試食・学習
77	夏祭り		鮭の三平汁試食	
78	安曇野の緑茶試飲			野菜たっぷりドレッシングでタラタラサラダを作り試食

道南地区店舗

	8月の活動	9月の活動	10月の活動	11月の活動
79		無洗米試食，セフターE実験，沖あみソーセージ試食会（シソと肉巻き，シソとソーセージのかき揚げ），体脂肪測定	料理講習会（さつまいもご飯，もやしサラダ，キュウリの醤油漬け，アセロラ洋梨二色ゼリー）	料理講習会（味噌ラーメン・オージービーフのローストビーフ，さつまいもご飯・もやしサラダ・きゅうりの正中漬け・アセロラ洋なし2色ゼリー），知内カキ見学
80		沖あみソーセージ・無洗米試食会	バザー，未来大学見学，草刈り，西部散策，サークル発表，かぼちゃ試食会	圧力鍋講習
81		食事会（松茸ご飯，焼き豚，もやしのサラダ，きゅうりの漬け物試食，いなり寿司，グラタン，さんま蒲焼き入り卵焼き），無洗米・中札内豆腐試食	廃油石けん作り，ローストビーフ試食	ローストビーフの講習会，さつまいもご飯・温泉卵を作り試食

82		野菜たっぷりドレッシング試食，ファミリーチョコ試食，古本市，花ずしの作り方，中札内豆腐・ソーセージ試食	さつまいもご飯・卵の味噌汁試食，知内カキ産地見学，りんご試食	
83	養護学校に雑巾を届ける，ペットの写真店頭展示，牛乳・生ハム試食	料理教室（豆腐ステーキ），体脂肪・血圧測定，フリーマーケット	高血圧の人の為のメニュー，血圧測定，味噌汁の塩分測定，知内カキ見学会，フリーマーケット，押し花教室，「かっぽれ」の踊り	編み物教室
84		えびすかぼちゃスープ・生ハム試食，雪印問題について意見交換，バザー	大沼牛の学習会・試食，みちのく鶏手羽元の野菜たっぷりドレッシング煮，手作りみそ作り，体脂肪測定，さつまいもご飯試食	試食会（ターキー，みちのく鶏スモーク・ローストビーフ，びらとり牛肉すき焼き用，吉野家牛丼の具，海水養殖うなぎ，ミックスキャロット，にしん漬け，有田みかん，アルギットみかん），絵手紙講習会，リース作り，知内かき見学会
85	生ハム（マリネ）・十勝牛乳（ゼリー，コンフレーク）試食	沖あみソーセージ試食会，西部散策，生ハムロースのマリネ試食	体脂肪チェック，オージービーフ切り落としで牛丼，シーフードサラダでドレッシング，無洗米試食	ユニセフバザー品作り，オージービーフたたき作り，アルギットみかん・ミックスキャロット学習，漬け物作り
86	十勝牛乳の試飲，なめらか豆腐試食	いなり寿司・卵焼き・グラタン作り，無洗米・沖あみソーセージ試食，手芸の会	牛ももの衣焼き，アルギット有田みかん試食，絵手紙，鮭と卵の混ぜずし作り，玉ねぎ食べ比べ，手芸，マリネの試食	知内かき見学会，コープ焼きそば試食
87	生産者と交流（とうもろこし畑・かぼちゃ畑見学，もぎたて試食），生ハム・なめらか豆腐試食	ウォーキング，細工寿司作り	オージービーフのローストビーフ，カキ見学，未来大学見学，手芸，きららの試食，かぼちゃを使いゼリー・団子・パイ焼作り	
88		料理講習会（みちのく鶏・沖あみソーセージ），大沼ひまわり畑散策，リサイクルフリーマーケット	リサイクルフリーマーケット	
89	納涼祭	豆腐・和風ドレッシング試食会，チョコレート・ジャム試食会，料理講習会（生ハム食べ比べ，あんかけ豆腐，無洗米試食）	料理講習会（ローストビーフ，漬け物，サラダ，新米），パークゴルフ大会	
90	十勝牛乳の試飲			

重点商品を学び広めましょう

新 内部掲示用

～「食品の安全・安心」の取り組み～

学ぶテーマ
＊重点商品の情報（具体的な良さ）
＊食品の安全への生協の考えや取り組み
＊食品の安全に関する現状の問題点
＊なぜ食品衛生法の改正が必要か…など

話し合うテーマ
＊学んだことを誰にどんなふうに知らせるか
＊重点商品をどんなふうに普及するか
＊新しい仲間をどのように迎えるか
＊署名はどんなふうに取り組むか…など

★月次の重点商品計画　（7月27日見直し版）

月	店舗重点商品	学習テーマ
4月	日本の大豆醤油 木綿豆腐400g	遺伝子組換え 遺伝子組換え
5月	日本の米サラダ油 十勝丸大豆納豆	遺伝子組換え 遺伝子組換え
6月	完熟とまと，埼玉産直トマト みちのく鶏 清流育ち薩摩うなぎ	農薬 産直，動物用医薬品 国産，産直
7月	セフターE コアノンロール	水環境 環境（森林資源）
8月	生ハム 十勝牛乳	添加物（発色剤） 道産，産直
9月	沖あみソーセージ 中札内木綿豆腐	添加物（着色料～） 遺伝子組換え，道産
10月	コスモスたまご 道産米（きらら，ほしのゆめ） こだわりタマネギ	産直，遺伝子組換え 産直，農薬 産直，農薬
11月	野菜たっぷりドレッシング 大雪高原牛	品質（おいしさ） 産直，動物用医薬品
12月	アルギットみかん ミックスキャロット	農薬，おいしさ 農薬，おいしさ
1月	シーチキンマイルド 電子レンジにも強いラップ	環境（ダイオキシン）
2月	日本のトマトケチャップ	国産原料，農薬 添加物（リン酸塩～）

（変更がある場合があります）

【コープ委員会に入ったきっかけ・動機，入った意義】

	委員長主導型			
	A店コープ委員会		B店コープ委員会	
	Aさん	Bさん	Cさん	Dさん
職業・年齢・性別	主婦・料理番組アシスタント，40代，女性	主婦，57歳，女性	主婦，50代，女性	主婦，58歳，女性
生協歴	組合員加入→00年4月～コープ委員（現コープ委員長）	83年組合員加入→総代・組織委員会→99年5月～コープ委員	組合員加入→総代→組織委員会・代表議長→99年5月～コープ委員（現コープ委員長）	84年組合員加入→グループ委員長→99年5月～コープ委員
コープ委員会に入ったきっかけ	店舗で配布しているビラを見て入る	地方理事会に参加していた人がコープ委員になる流れがあった	地方理事会に参加していた人がコープ委員になる流れがあった	グループ活動をしていた時にCさんに誘われて入る
動機	家庭外でいろいろな活動をしてみたかった。人の役に立つ事によって自分が認められる事が好きで，食について人に教える事を今までも職業にしてきたから	家庭外でいろいろな人と交流したかった	自分や家族の為に安心安全な生協商品についてもっと知りたい	家庭外でいろいろな人と交流したかった
意義	参加者に新しいことを知ってもらえて，自分が役に立って，為になったと思われて嬉しい	様々な人の意見を聞けた事によって，コープ商品や社会情勢について知る事が出来た。	食を通して地域を守りたいと思うようになった→（例）農薬を取りたくない・道内の農家を守りたいと思い，内地産の米から道内産の米を使うようになった	地域の福祉事情を知る事が出来，自分も将来使えるという安心感を持つ事が出来た。人の為に出来る事があると実感できた。友達が増えて，様々な交流が出来て楽しい

	合意形成型		リーダー層主導型		
	C店コープ委員会		D店コープ委員会		
	Eさん	Fさん	Gさん	Hさん	Iさん
職業・年齢・性別	主婦，50代，女性	主婦，78歳，女性	主婦，50代，女性	主婦，57歳，女性	主婦，61歳，女性
生協歴	組合員加入→総代→99年2月～コープ委員（現コープ委員長）	70年組合員加入→組織委員会（E店）→グループ委員長（C店）→99年5月～コープ委員	80年組合員加入→総代→組織委員会→99年5月～コープ委員（現コープ委員長）	組合員加入→総代→99年5月～コープ委員	70年加入→組織委員（F店）→総代（D店）→グループ委員長→99年5月～コープ委員
コープ委員会に入ったきっかけ	コープ委員に誘われて入る	地方理事会に参加していた人がコープ委員になる流れがあった	地方理事会に参加していた人がコープ委員になる流れがあった	地方理事会に参加していた人がコープ委員になる流れがあった	地方理事会に参加していた人がコープ委員になる流れがあった
動機	自分や家族の為に安心安全な生協商品についてもっと知りたい	自分や家族の為に安心安全な生協商品についてもっと知りたい	自信を持って生きてる女性へのあこがれ。家庭外でいろいろな活動をしてみたかった	自分や家族の為に食の安全について，もっと知りたい	自分や家族の為に安心安全な生協商品についてもっと知りたい
意義	学習したことで子育てに対する自信（食材を自信を持って選べた）を持てた事，それが子どもに伝わった事	様々な組合員と子育て・食生活について話し合い，意見を聞けた事によって，勉強になった。	納得した家庭での食生活が出来るようになった。地域社会に目を向けられるようになった。違った視点で公平に見て，選択できるようになった。	学習したことで子育てに対する自信（食材を自信を持って選べた）を持てた事，それが子どもに伝わった事	学習したことで子育てに対する自信（自分で安全な商品を選択できた）を持てた事。社会問題も身近な生活の中で改善していける，人の為に出来る事があると実感できた。国際支援NGOの人と知り合い，助け合うことが出来た